

自宅敷地内や室内での トイレトレーニングを意識



- 外排泄のみの習慣から、自宅敷地内や室内での排泄へ切り替えるためには、無理のない程度に根気よく取り組む心がけが大切です。
- 基本的にトイレトレーニングは、子犬や若い時期から始めておく教えやすいものですが、犬は成犬になっても学習する動物ですので、可能な範囲でやってみることをおすすめします。
- ただし、無理強いはしないこと。完璧を目指すのではなく、ゴールは「10回に5～7回成功したらよし」くらいの気持ちで取り組む姿勢も大切です。
- 方法は2つ。①外排泄時に毎回行うことを学習させて、どこの場所でもできるように誘導する方法と、②室内での排泄を教える際に行うトイレトレーニングを応用する方法です。

①外排泄時に毎回行うことを学習させて、 どこの場所でもできるように誘導する方法

～その1～

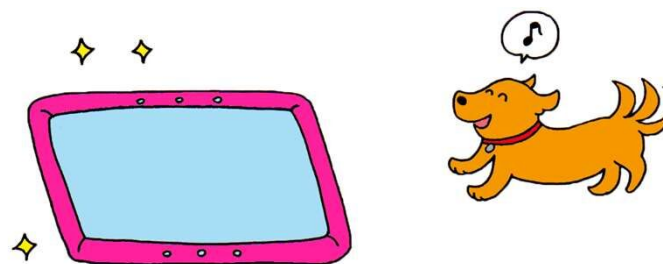
- 具体的には外での排泄時に号令をつけたり、さりげなくトイレシートを敷いた上で排泄することを学ばせます。
- 号令での排泄は「ワンツー、ワンツー」など犬が聞き取りやすい言葉を排泄のサイン（号令）として教える方法です。
- 初めのうちは、「排泄時にいつも同じ言葉が聞こえてくる」と犬に認識させるところから開始。号令をかけ、排泄時には必ずほめて、ごほうびとして犬の喜ぶおやつを与えましょう。何度も繰り返し、「号令＝排泄すること」が犬に定着するまで続けます。



①外排泄時に毎回行うことを学習させて、 どこの場所でもできるように誘導する方法

～その2～

- 号令をかけた「後」に排泄することができるようになってきたら、排泄場所を徐々に自宅方面に近づけていきます。
- 庭や玄関先など、自宅敷地内で号令とともに排泄ができるようになったら、室内での排泄に取り組んでみましょう。
- トイレシートでの排泄を教える場合もまずは外の場所で行い、徐々に自宅方面へ移動しながら実施します。号令とトイレシートの両方を教える場合、同時に教えるよりも、片方ずつ進めていく方が確実に覚えられます。



②室内排泄を教える際に行う トイレトレーニングを応用する方法 ～その1～



- 室内飼育の場合は室内トイレを設置、外飼いの場合は自宅敷地内にトイレ場所を設置するところから開始です。
- 飼犬のオシッコを吸わせたトイレシート（★）をあらかじめ用意しておきます。排泄場所だと認識させやすくするために、トイレに★を置きます。足を上げて排泄する犬の場合は、ポールを設置し、ポールに★を巻くことも有効です。



- 犬を排泄させる時間になったら、トイレに連れていき、無理のない範囲で一定時間、排泄するのを待ちます。

②室内排泄を教える際に行う トイレトレーニングを応用する方法

～その2～



- トイレで排泄したら必ずほめて、ごほうびとして犬の喜ぶおやつを与え、その後、散歩に連れ出しましょう。
- トイレで排泄しない場合は、気にせず、その回はスルーします。排泄した時にだけ、必ずほめるということだけ繰り返します。
- ①の方法と組み合わせて行くと、よりトレーニングが進む場合もあります。
- 啓発パネル「犬と楽しく暮らすためにトイレトレーニングを始めよう！」も参考にしてみてください。